

東日本大震災のPCB廃棄物への影響について（第9報）

（平成24年10月31日調査時点）

平成24年12月
環境省産業廃棄物課

東日本大震災による保管していたPCB廃棄物への影響について関係県市が確認しているところですが、津波により流失した等でトランス・コンデンサが保管場所がないことが平成24年10月31日時点までに確認された台数（流失台数）は下表のとおりです。

○トランス

	保管されていた台数	流失台数	左欄のうち高濃度
青森県	569	1	1
岩手県	726	8	0
宮城県	750	32	0
福島県	1,450	1	0
合計	3,495	42	1

○コンデンサ

	保管されていた台数	流失台数	左欄のうち高濃度
青森県	5,059	0	0
岩手県	4,010	29	10
宮城県	16,758	136	42
福島県	11,825	9	5
合計	37,652	174	57

環境省では、環境への影響を把握すべく、土壌や海洋等の環境モニタリングにおいて、PCBの環境中濃度についても調査を行っています。現時点で、海洋、土壌、公共用水域、地下水について、環境基準等を超過した地点はありません。詳しくは、環境省ウェブサイト「東日本大震災への対応」の「東日本大震災の被災地における環境モニタリング調査について」をご参照ください。